

会 議 記 録

高松市附属機関等の設置、運営等に関する要綱第7条第4項の規定により、次のとおり会議記録を公表します。

会 議 名	平成30年度第1回高松市子ども・子育て支援会議 保育所・幼稚園等部会
開 催 日 時	平成30年9月5日（水） 15時～16時
開 催 場 所	高松市役所11階114会議室
議 題	1 幼保連携型認定こども園の認可について 2 平成31年度の特定教育・保育施設等の利用定員について
公 開 ・ 非 公 開	<input checked="" type="checkbox"/> 公開 <input type="checkbox"/> 一部公開 <input type="checkbox"/> 非公開
非 公 開 の 理 由	—
出 席 委 員	5人
	加野部会長、金倉委員、日下委員、三木委員、山田委員
傍 聴 者	10人（定員10人）
担 当 課 及 び 連 絡 先	こども園総務課 （839-2359）

会議の経過及び結果
<p>開 会</p> <p>部会長から、職務代理者として日下委員の指名があった。</p> <p>1 幼保連携型認定こども園の認可について</p> <p>2 平成31年度の特定教育・保育施設等の利用定員について</p> <p>事務局から、議題（1）、（2）についての概要説明を行った。</p> <p>【主な質疑応答】</p> <p>委員）他県の事例ではあるが、保育士不足により、小規模保育事業等が廃止されている事例がある。運営状況や理念等を注意深く審査し、利益が出ないから廃止することがないようにしなければならない。</p> <p>事務局）認可申請を受ける際に、申請者から保育の理念等について、ヒアリングを行っている。途中で事業が廃止することで、子どもたちの行き場がなくなることがないように、継続して保育を提供するよう引き続き確認を行っていく。</p> <p>委員）需給バランスの量の見込み等の数値の精度や、今後の見込みはどのようか。</p> <p>事務局）量の見込みの数値は、私的待機等を含んでいるため、公表されている待機児童数とは必ずしも一致しない。また、現在の高松市子ども・子育て支援推進計画については、平成27年度から31年度までの計画となっており、次期計画の策定</p>

に向けて、準備を行っていくこととしている。今秋から、保護者に対してニーズ調査等を行う予定であり、現状のニーズや人口推移等を計画に反映していくこととしている。次期計画の量の見込み等の数値については、子ども・子育て支援会議で審議をお願いしたい。

委員) 居住する学校区にある教育・保育施設に預けたいという保護者がいる一方で、学校区外の施設に預けている保護者も一定数いるかと思う。どこの地区の子どもがどこの地区の施設に預けられているか等のデータはあるか。

事務局) 現時点ではお示しできないが、次期計画の策定の中で検討を進めていきたい。

委員) 待機児童が発生している中で、公立の保育所や認定こども園の定員が変わっていないのはなぜか。次期計画では、公立の定員を増やしていくことはあるか。

事務局) 公立施設が民間の経営を圧迫しないようにすることが前提にあるため、積極的に利用定員を増やしていくという考えはない。一方で待機児童が発生している現状から、公立施設でも、積極的に役割を果たしていくため、利用定員を超えた弾力的な運用を行う等、受け入れの態勢を整えている。

委員) 施設整備のみならず、学校区外でも受け入れ可能な施設がある場合は、そういった施設も案内する等、入所受付等での工夫も必要である。

事務局) 認可保育施設以外にも、企業主導型保育事業等、多様な保育施設が存在するため、保護者の希望や、必要とする保育形態等を聞き取りながら、適切な案内に努めていきたい。

部会長) 議題(1)の「幼保連携型認定こども園の認可」について、議題(2)の「平成31年度の特設教育・保育施設等の利用定員」について、部会としては、認可、了承することに問題なしとしたい。

閉 会